入門セミナー

「どうする!? 我が社の女性活躍」

女性の働きやすい環境を整え、経済を活性化させようと、このほどさいたま新都心のWith Youさいたまで「どうする!?我が社の女性活躍」入門セミナー（埼玉県ウーマノミクス課主催、埼玉新聞社・五大工業企画・運営）が開催された。当日は県内企業の経営者や管理職ら約50人が集まり、企業コンサルタントの大西素子氏による講演や、県内先進企業の事例発表などが行われた。参加者たちは日本の労働力を取り巻く現状や女性の意識などを確認し、各企業へ課題を持ち帰った。

輝く女性たちが企業を変える

近年女性活躍推進が叫ばれるようになったのは、二つの理由から。一つは「労働生産性の低下」。もう一つの理由は「労働力人口の減少」だ。バブル崩壊後の慢性的な不況に加え、少子高齢化などの社会変化により、労働力人口のますますの減少が予測される。女性の年齢階級別労働力率は20代、30代で落ち込んでおり、埼玉県はこの落ち込みが大きい。大西氏は「この年代の女性がどのように仕事を続けられるかが課題」と話す。

しかし女性を取り巻く環境と意識は時代とともに変化している。大西氏は「91年から、夫のみが働く世帯の数を共働き世帯が上回っている」と指摘。近年は、正社員だけでなく派遣やパートタイム、条件つき正社員など、多様な働き方で生涯働き続ける女性が増えている。

「子育てなど時間的制約がある方が生産性は上がる」と大西氏。限られた時間・労働力でいかに成果を挙げるかを考えるとき必要になるのが「ダイバーシティ（多様性）・マネジメント」（＝図1）だと指摘する。多様な人材をフル活用し企業のパフォーマンスにつなげるための人材活用戦略の第一歩となるのが女性活躍推進だ。大西氏は「必要となるのは、女性の力を経営に活かしたいという各企業の意識。女性と男性の意識の差を埋め、変化のための具体的な手段を講じるべき」と促した。

女性活躍のための5つのステップ

飲料会社や生命保険会社など、女性の活躍により発展する企業が増えている。女性の活躍推進が進む企業ほど経営指標が良く、ワークライフバランスに取り組むことで生産性が上昇する傾向が見られる。優秀な人材が集まりやすくなるほか、多様な視点から消費者ニーズを捉えられるなど、女性活躍と業績の向上には正の相関関係がある。「県のウーマノミクス政策を力に、女性が職域を広げられる組織作りに取り組んでほしい」と、取り組み例として5つのステップが理想的と話した（＝図2）。

「とはいえ女性活躍推進に葛藤や抵抗の意識がある企業経営者がいるのも事実」と大西氏。また女性側でも、働き方を考える中で迷いが発生する。「あいまいにせず問題を表に出すことが必要。本音を話し合えるような風土を、十分時間をかけて作ってほしい」と呼び掛けた。

ワークライフバランス実現のために

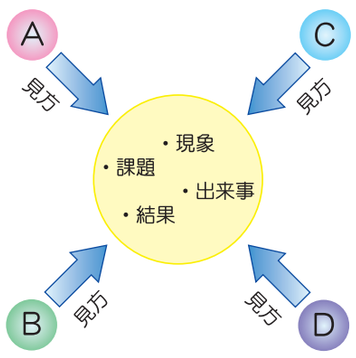
仕事と生活の両立は女性だけの話ではない。団塊世代が介護年齢に突入すると、今後は育児よりも介護が課題となり、男性の働き方にも影響を及ぼすため、「働き方の多様化」が必要となる。企業の施策例としては、就業規則の見直しや柔軟な勤務形態づくりなどが挙げられる。大西氏は「それぞれの会社にあった方法を見つけてほしい。ワークライフバランスを実現することで、会社の理念を共有し、自ら生き生きと働き続ける社員とともに発展する会社にしてください」と話した。

大西 素子
（おおにし・もとこ）
i-project代表、株式会社フリー・エージェント・ネットワーク取締役

講師紹介

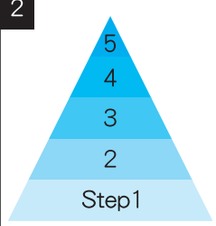
中村 香織
（なかむら・かおり）
株式会社フリー・エージェント・ネットワーク取締役、産業カウンセラー

図1 ダイバーシティ・マネジメント



多様な価値観による意識の変化を受け止め広く人材を活用し、最大限の能力を発揮させ生産性を高めていくというマネジメント

図2 女性活躍の取り組み例



- Step5 管理職への登用（女性型マネジメントスタイルの構築）
- Step4 教育、研修、資格取得などの能力開発 支援（男女ともの人材育成）
- Step3 配置領域の拡大、職域拡大（営業・企画・研究・開発・技術など）
- Step2 働きやすい職場づくり（仕事と家庭の両立支援）
- Step1 積極的な女性採用（女性比率アップ）

女性活躍による経済の好循環を目指して

埼玉県ウーマノミクス課長　**野尻 一敏**

生産年齢人口が減少する中で、経済分野での女性活躍に対する期待が高まっている。女性の活躍によって経済力が高まることで消費が増加し、地域経済が活性化することで更なる雇用が生まれる。その好循環をめざして、県では2012年度から埼玉版ウーマノミクスプロジェクトに取り組んできた。

働く女性の約6割が、1人目の子供の出産とともに退職している。埼玉県の30代女性の就業率は全国で42位と低い状況。一方、女性の働きたいという意欲は全国第4位で、実は非常に高い。

厚生労働省が発表した雇用均等基本調査では、積極的な取り組みを行なっている企業は20パーセントでまだ低い。女性の活躍推進に取り組む企業が一つでも増えることを期待している。

「企業の女性活躍推進ステップアップ支援事業」とは

埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの一環で、企業・行政・地域が一緒になって女性の社会進出の後押しを目指す事業。入門セミナーのほかにワークショップ、コンサルティングを通じて、各企業の抱える課題を明らかにし、必要な行動を提案。企業が女性活躍推進に主体的に取り組み、自走する仕組みを目指す。3月には成果発表会も行われる予定。

事例紹介

活き活き働きやすい職場づくり

株式会社 コマーム（子育て支援）
代表取締役　小松 君恵 氏

我が社は女性従業員が中心ですが、20代、30代、40代で仕事や生活に対する思いはそれぞれ違います。ならば、それらの思いをしっかり仕事に生かせる仕組みがいいんじゃないかと思っています。働き方はひとつではありません、年齢や環境によって変わります。保育だけでなく様々な業務を行っていますが、それは人に合わせた多様な働き方を整備していく上で、それに合わせた仕事の場を増やしてきています。女性が働きやすい職場づくりのキーワードは「多様性」です。まずは柔軟に選べる雇用形態、そして子育て・ステップアップ支援、また急な家庭の事情に対応できるネットワーク支援の確立です。これらは労務管理など大変なことも多くありますが、それぞれの個性を大切にする姿勢は企業が発展するために必要なことだと思います。

女性視点の商品開発と取組の背景

株式会社 ひびき（食品製造業）
社長代理　小島 淳一 氏

女性の登用で我が社ができること、と考えた時にまず取り組もうとなったのが女性視点による商品・メニュー開発でした。我が社は女性客が多く、「食後には甘いものが欲しい」という女性社員の意見からデザートの開発に取り組みました。事業所がある川越らしさ、そして焼き鳥屋らしさを意識して串に刺した可愛らしいスイートポテトを販売しましたが、これには男性社員始め、会社全体が活性化しました。女性活躍と考えた時に「何をやって貰えばいいか」と考えるのでなく、「まずはやって貰おう」という案ずるより産むが易し、を心がけています。商品開発の際もそうですが、女性だけのミーティングを行うなどの工夫や海外研修への女性社員の派遣も行っています。「思ったらまずやってみる」ということが大切な一歩ではないかと感じています。

ワークライフバランスが可能な職場づくりと経営者の意識

株式会社 太陽商工（建設業）
代表取締役　池田 由季子 氏

私自身も水道・建築の現場を経験していますが、我が社は週休2日を建設業で先駆けて導入するなど休みをしっかり取ろうという風土があります。会社は365日休まず対応している中でそれが可能なのは、社員が休みのローテーションを作ったことにあります。そういう意味でも職場づくりは常にボトムアップです。「会社が好き」「仲間としてともに歩んでいきたい」と思える集まりでありたい、というのが経営者としての希望です。産休・介護休暇など法定より多く設定しているほか、選択できる勤務形態など社員がこうしたら喜ぶだろうという視点を大切に状況に合わせたフレキシブルな対応を行っています。人生の大部分を会社で過ごすわけですから、楽しく長く働き続けて欲しいと思っていますし、それが会社にも有益になっています。

「彩の国」さいたま 埼玉県　埼玉版ウーマノミクスプロジェクト

第2弾 経営者・管理職・人事担当の皆様へ

輝く女性たちが埼玉を変える!

「どうする!? 我が社の女性活躍」ワークショップ

日時　10/22(水)・11/19(水)・平成27年 1/26(月)
各回 午後1時～4時

会場　大宮ソニックシティ　参加費　無料

定員　県内企業の経営者、管理職、人事担当の方、各回限定50名（先着順）

内容　10/22(水)【第1回】「女性が活躍しやすい職場環境作りとは」
11/19(水)【第2回】「今求められる、男性管理職の意識改革とは」
1/26(月)【第3回】「女性が活躍しやすい制度（産休・時短勤務）、施策作りとは」

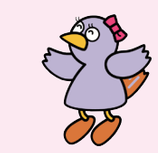
お申し込み　埼玉新聞ホームページの応募フォームからメール送信してください

お問い合わせ　埼玉新聞社　クロスメディア局　TEL 048・795・9932

参加無料
各回 県内企業 限定50名 募集中
締切は各回開催日の7日前まで

ファシリテーター
i - project 代表
株式会社フリー・エージェント・ネットワーク
取締役 大西 素子
株式会社フリー・エージェント・ネットワーク
取締役 中村 香織

「どうする!? 我が社の女性活躍」ワークショップとは?



埼玉県のマスコット「コバトン」

女性活躍推進に関するそれぞれのテーマについて、ワールドカフェ＆OST（オープン・スペース・テクノロジー）形式で参加者同士が自由に意見交換できる場です。他社の女性活躍推進リーダーと率直な意見交換をし、新たな視点や発見を得ることにより、自社の女性活躍推進の加速に繋がります。県内企業の経営者、管理職の皆様、ぜひご参加ください！

あなたの会社は当てはまりませんか?
- □ 産休育休など、各種制度の利用率が低い
- □ 女性活躍のためになにが必要かわからない
- □ 他の企業の女性活用の現状が知りたい
- □ 女性の採用を増やしたい

ひとつでも当てはまったら、意見交流にいらしてください!

【主催】埼玉県ウーマノミクス課　【後援】埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会、埼玉県経営者協会、埼玉経済同友会、埼玉中小企業家同友会、埼玉県産業振興公社　【企画・運営】埼玉新聞社・五大工業株式会社　企業の女性活躍推進ステップアップ支援事業受託者:埼玉新聞社